

Interview



南駒形モーターズ  
代表取締役会長  
佐々木 精太郎さん

若い世代が、  
生き生きと輝けるように。

人口が減るなか、頑張っている若い人  
たちを応援したいと思い、イベントの益  
金や本、花などの寄付を始めました。

私も子育てを経験した父親の一人。会  
社では、子育てを頑張るお客さまや従業  
員の姿をたくさん見てきました。若い世  
代が元気であることは、地域にとっても  
メリットがあります。安心して子育てと  
仕事ができる環境を整えることが大切だ  
と思い、休暇をとりやすい環境づくり  
にも取り組んでいます。金額や物の大小で  
なく、子どもたちと若い世代が生き生き  
と輝けるように、これからも応援してい  
きたいと思います。

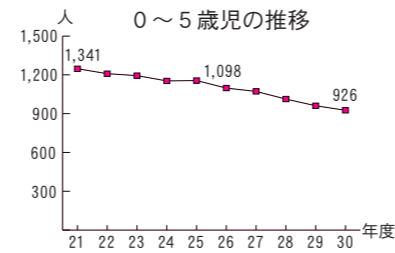
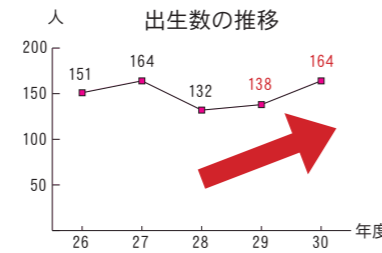
**少子化のなかにも  
見える希望**

昨年度の本市の0～5歳児の  
人数は926人。条例が作ら  
れた平成21年度と比較すると  
415人減少しています。  
市は、平成24年度に子育て支  
援の拠点「元氣わらすっこセン  
ター」を整備。少子化・子育て支  
援を共通優先方針に掲げ、医  
療・保育・教育機関との連携を強  
化しました。新たな子育て支援  
として、市民ボランティアが  
子どもを預かるファミリー・サ  
ポート・センター事業や療育支  
援、遠野運動公園わんぱく広場  
と元氣わらすっこセンターのリ  
ニューアルなどを実施。出生数

は、平成28年度以降2年続けて  
増加しています。引き続き安心  
して産み育てられる町づくりの  
実現を目指します。

**3本柱で挑む  
新たなステージ**

「もう少し遊べる場所や遊具  
が増えたらいいなあ」公園では  
そんな声も聞こえてきます。  
本年度は、わらすっこプラン  
の計画最終年度。市は、市民の  
声に耳を傾けて新たなプランを  
作り、条例についても見直しを  
検討しています。「わらすっこ  
条例・プラン・基金」を3本柱に、  
子ども・子育て支援のさらなる  
充実に挑みます。



◎写真 開園50周年を迎えた青笹保育園。園児たちが元気いっぱい遊んでいます。

-特集- 未来へつなぐ  
わらすっここの育ち

「わらすっこ(子ども)は遠野の宝、希望です」。  
子どもたちへの愛情から生まれた「遠野市わらすっこ条例」。  
子どもが安心して、元気に育ってほしい。  
そして、遠野の未来を担ってほしいという願いが込められています。  
条例ができてから10周年を迎えた、本市の子育て支援について紹介します。

10周年を迎えた  
遠野の子育て支援

平成21年4月、子どもが持つ権利を  
守るための「市わらすっこ条例」が県内  
初誕生。平成31年4月で10周年を迎  
え、小学校5年、10歳になりました。  
条例は、子どもが幸せに育ち、大切に  
されることを地域の約束として決めた  
もの。そこには、子どもにとって大切  
な権利と子どもの成長を守るための地  
域の役割などが書かれています。大  
人への言葉の一つが「子どもの育ちを  
見守り、寄り添い、支えていく責任  
を負っています」。条例には、わら  
すっこへの愛情が込められています。  
条例ができる1年前、市は少子化対  
策と子育てしやすい環境づくりに取り  
組むため「遠野わらすっこプラン(市少  
子化対策・子育て支援総合計画)」を作  
成。出会いから結婚、妊娠、出産、子  
育てを切れ目なく支援する仕組みで、  
「子どもを産み育てることに夢が持  
てるまちづくり」を目指しています。プ  
ランの実現を支えるのが条例と「市わ  
らすっこ基金」。基金は、子どもと子  
育て支援に使われる貯金です。条例と  
基金で支えられたプランをもとに▽保  
育料の軽減▽医療費などの助成▽児童  
館・児童クラブ運営―など30以上の事  
業を実施。みんなで子育てを応援して  
います。

ここがポイント！  
わらすっこ支援「3本柱」

わらすっこ  
プラン

安心して産み育てられる  
遠野を目指し、出会い・結  
婚・出産・子育て・教育・孫育  
てまで、切れ目ない支援の  
仕組みを定めています。



わらすっこ  
基金

子どもの成長や子育てに  
必要なことに使う貯金。収  
入源は税金と寄付。10年間  
で189件の寄付が寄せられ、  
残高は14,807千円。

わらすっこ  
条例

子どもたちの成長を支え  
るための、子どもや大人、  
みんなの約束。子どもが安  
心して生きる権利や大人の  
役割が書かれています。

## 6 児童館・児童クラブ、放課後等デイサービス

Q どんな活動をしているの？

A どちらも、放課後や休業日に勉強や遊び、地域との交流など、さまざまな活動や体験を通してわらすっこの成長を支えています。

児童館・児童クラブは、市内全11小学校の500m以内であって、「無料」で利用できます。

放課後等デイサービスは発達に心配のある6～18歳(必要に応じ20歳まで)の就学児童・生徒が対象で、青笹町と宮守町に各1カ所あります。小学生の利用料については助成金があり、実質「無料」となります。



2年で9回開催  
カップル21組(うち、結婚1組)

### 第10回「とおの縁結び」開催決定!

自己演出力アップセミナーも開催!  
詳しくは、問い合わせください。

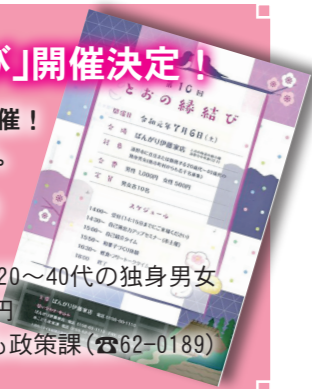
日時 7月6日(土)、14時～18時

場所 ばんがり伊藤家

対象 市内在住または勤務する20～40代の独身男女

参加料 男性1,000円、女性500円

申し込み・問い合わせ 市こども政策課(☎62-0189)



## 4 赤ちゃんの駅、元気わらすっこのルーム

Q 利用は有料? 無料?

A どちらも「無料」です! 赤ちゃんの駅は、お祭りや地域行事など、子育て世代が参加するイベント主催団体に貸し出します。



赤ちゃんの駅  
屋外でのオムツ交換や授乳場所に!

★貸出期間 最長7日間

★申込方法 申請書を提出(利用日の7日前までに市こども政策課へ)

### 元気わらすっこのルーム

自由に使える、遊び・交流の場です!

★開放日時 平日9時～17時、日曜10時～16時(開放日時は変更する場合があります)

★利用方法 初回登録時から無料で自由に利用できます。

★場所 元気わらすっこのセンター内(東館町8-12)



クライミングウォールもあるよ!

## 5 結婚応援事業 婚活イベント

Q どのようなイベントを開催しているの?

A 「とおの縁結び」と題して、フリートークや体験型イベントを事業所や団体が企画し、開催しています。

## 2 ファミリー・サポート・センター事業

Q ファミサポってなんですか?

A 保育施設への送迎や学校行事、冠婚葬祭のときなどに利用できる託児サービスです。初回登録から利用まで、スタッフがサポート。安心して利用できます。

★利用方法 ①会員登録をする ②「おねがい会員(子どもを預ける人)」から元気わらすっこのセンターに電話 ③元気わらすっこのセンターが「まかせて会員(子どもを預かる人)」を紹介 ④子どもを預ける

★利用料 1時間あたり500円～(利用日時で変動)

★その他 まかせて会員を募集しています(7月末から8月に予定する計24時間の研修受講が必要です)。

## 3 任意予防接種等費用助成

Q 任意予防接種の補助はありますか?

A 子どものインフルエンザ予防接種など、対象の家庭には受診票などを送付してお知らせしています。そのほか、産後健康診査や乳児一般健診、新生児聴覚検査などの費用助成もあります。



←赤ちゃん誕生後プレゼントする「わらすっこの応援券(10,000円分)」も予防接種や病児・病後児保育などに利用できます。

妊娠から子どもの成長に合わせて、子育てをサポートするさまざまな取り組みが行われています。30以上ある支援の中から、主な内容を「10」紹介します。

◎問い合わせ 市こども政策課(☎62-0189)

遠野 わらすっこ 検索



## 1 助産院 ねっと・ゆりかご

Q 助産院って、どんなところ?

A お産は取り扱いませんが、助産師が医師と連携して健診や相談などを行い、妊婦さんをサポートしています。

★内容 健康相談、妊婦健診、お産が始まったときの緊急対応等サポート、産後ケアなど

★開院日時 月曜～金曜日(祝日除く)、9時～12時、13時～17時

★場所 遠野健康福祉の里内

★相談・問い合わせ 市助産院「ねっと・ゆりかご」

(☎62-1103) 遠野市助産院 ねっと・ゆりかご

検索



### インタビュー

左から/櫻井莉乃さん、菊池柚希さん、高橋愛叶さん  
=青笹小4=

#### 児童館はとっても楽しい!

一輪車も楽しいし、おにごっこも好き。あとは、鉛筆おにごっこ! 児童館は、いろいろな学年の友達とたくさん遊べるから楽しいです! 勉強は好きじゃないけど、友達とやると楽しいかな!



佐藤 充さん  
=大工町=

左から/孫の侑藤くん(7)、秋乃ちゃん(1)、稀希くん(5)



#### お気に入りの遊び場

孫にせがまれ、元気わらすっこのルームをよく利用しています。自分もゆっくりできるし、目が届く広さなので安心。孫たちは他の子どもたちと遊べて交流の場にもなる、お気に入りの場所です。

#### 明るい笑顔の家庭に

妻が風邪を引いたとき、妻の負担の大きさを実感。今は、洗濯や保育園の送迎など自分にできることをしています。お互いに支え合うことで、明るい笑顔の家庭になるのかなと思っています。

松田 良友さん  
=中央通り=

左から/妻の奈美江さん、次女の望叶ちゃん(1)、長女の芽依ちゃん(3)



#### 娘も喜ぶサポートでした

先月、ファミサポを初利用。私たちの気持ちに寄り添ってくれて、安心して利用できました。まかせて会員さんからもらったチューリップの折り紙を娘が大切にしているのを見て嬉しくなりました。

阿部 幸子さん  
=土淵町=  
長女の優さん(9)





### 未来へ繋げるために

妊娠の喜び、出産の感動、待ちに待って抱きかかえる赤ちゃん。小さな体にそつと触れたとき、何を思い、何を考えましたか？夜中の授乳や離乳食作り、子どもが体調を崩せば、心配で眠れないときもあります。

時代の流れとともに子育てが家庭の状況も変化。核家族や共働き世帯が増加し、「迎えの時間に間に合わない」「困ったときに頼る人がいない」「仕事も子育ても両立しない」と、など悩みはさまざまです。

市は、今後も子どもの成長を支え、子育てを応援するために力を注いでいきます。本年度は、新たなサポートも始めました。市民の声に耳を傾け、新しいわらすっこのプラン作りにも取り組みます。支援の充実と環境整備を進めていくためには、皆さんの協力が必要不可欠です。地域や事業所、行政など、それぞれができる支援を繋ぎ合わせることで大きな支援の輪になります。子どもに寄り添い、育ちを見守るのは、遠野に住む私たち。一緒に愛情を込めたサポートを広げていきませんか。

## Info.

### 子どもと子育てを応援 「わらすっこ基金」

遠野の子どもと子育てを応援したい皆さんからの寄付を受け付けています。

「わらすっこ基金」は▷公園の遊具などの子育て環境整備▷学校教育支援▷こどもたちのスポーツ・芸術文化活動助成—など子育て支援のために使われ、遠野のわらすっこの育ちを支えています。詳しくは、問い合わせください。

問い合わせ  
市こども政策課 ☎62-0189

遠野市 わらすっこ基金



Voice 遠野のこども・子育て支援に意見を交わすわらすっこ支援委員会。高校生委員2人の声を紹介しします。



わらすっこ支援委員会委員  
ゆめの  
菊池 夢乃さん  
=遠野高校3年=

#### 子育てしやすい 町にしていきたい

わらすっこ支援委員になって2年目。学校の子育て支援探究活動や委員会の皆さんと医療や経済、子どもの居場所など課題解決に意見を交わし、遠野がいい方向に向かっていくように感じています。産婦人科や子育てに優しい働き方など、課題をどうしていけばいいのかこれからも考えていきたいです。



わらすっこ支援委員会委員  
佐々木 あゆなさん  
=遠野緑峰高校3年=

#### 子どもたちの笑顔が あふれる遠野がいい

わらすっこ支援委員会に参加して、遠野はいろいろな子育て支援に取り組んでいることを知りました。委員会で学んだことは同世代に伝えていかなければと思っています。遠野の子育て環境には課題もあるけど、遠野の未来は、元気な子どもたちと家族の笑顔がいっぱいあふれてほしいです。

## トオノ・あい

紹介する10の支援内容も残り4つ。ここでは、本年度から始まるサポートを紹介しします。

◎問い合わせ 市こども政策課(☎62-0189)

## 8 居場所づくり (子ども食堂) 補助金制度

誰でも気軽に集える「子ども食堂」。現在、市内で運営しているのは2カ所。みんなでご飯を食べて、宿題をしたり遊んだり。親同士の交流の場にもなっています。

同食堂の開設・運営を支えるため、補助金を交付します。

- ★補助対象 人件費、食材費を除く経費
- ★補助上限額 新規50万円、機能強化30万円

## 7 子どもの 団体活動施設 使用料サポート

さまざまな大会で活躍が光る遠野のわらすっこ。市内の子どもたちの活躍を応援するため、スポーツ・芸術文化活動で使用する施設使用料金をサポートします！

- ★対象団体・活動 ▷市内県立高校の部活動▷子ども会や子育てサークル活動・行事▷学校クラブ、スポーツ少年団、社会教育登録団体▷その他、教育文化活動などで必要と認められる団体
- ★対象施設 ▷市民体育館▷宮守体育館▷遠野運動公園▷市民センター▷市内各小学校—など22施設
- ★その他 助成を受けるには申請が必要です。詳しくは、問い合わせください。

## 9 不育症 治療費助成

不育症を診断するための検査および治療費を助成し子どもを授かりたい家庭に寄り添います。

- ★対象年齢 制限なし
- ★助成金額 上限5万円(1年度1回)
- ★申請窓口 遠野健康福祉の里
- ★問い合わせ 市母子安心課(☎62-1108)



## 10 難聴児補聴器 購入助成拡大

軽度および中等度の難聴児に、補聴器の購入費用の一部を助成します。

- ★対象児童 18歳までの市内児童
- ★補助額 購入額の2/3(上限有り)